



MOTEGI 2&4 RACE

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2023 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第5戦

- 栃木県 ■ モビリティリゾートもてぎ ■ 1周=4.801379km
- 8月19日（土）：予選 天候：晴れ コース：ドライ
- 8月20日（日）：決勝 天候：晴れ コース：ドライ

JSB1000 #9 関口 太郎

■ マシン / BMW M1000RR
■ タイヤ / BRIDGESTONE

予選 10番手 (タイム: 1分50秒489)

決勝 13位

観客動員数 : 8,300 人 (2 日間合計)



Fujimoto Electric Industry

府中不動産

岡崎機工株式会社



Burgundy
Auto Paint & Bodywork Specialist

YONE MOTORS
<https://www.yonemotors.jp>



BRIDGESTONE



SUPER NOW

J-TRIP S&E PRECISION RACING MAX

BEEPRESSO

alpinestars 功利樂國 HYOD

Motorcycle CS2

DARI 2輪専門

LINTEC リンテック システム株式会社

SOG バイク館



CI DESIGN ADVANTAGE

SHORAI

RK

NGK

P.O.

INOMATA

Arai HELMET

WIND JAMMERS

PLUSμ

TCM

MDP

RS

elf

ARAI

FIXFIT

Team PLUS ONE

全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦がモビリティリゾートもてぎで開催された。鈴鹿8耐から2週間のインターバルは、ほぼ休む時間もなく片付けと準備に追われて、レースウイークを迎えていた。今回から2023年シーズンは後半戦に突入。暦の上では立秋が過ぎているものの、鈴鹿8耐に匹敵する暑いコンディションでのレースとなった。



金曜日は、40分のフリー走行が2本あり、鈴鹿で施してきた新しい方向性のセッティングをもてぎを走り始める。思っていたよりも、走れる状態だったこともあり、そこをベースに、もてぎのコース、そしてコンディションに合わせてアジャストしていく。初日は、1本目が1分52秒741で13番手、2本目が1分51秒719で10番手と、まずまずの出だしとなっていた。

公式予選も厳しい暑さの中でのタイムアタックとなる。路面温度も高いこともあり、最初からニュータイヤを履き、まず最初のアタックに入る。1分51秒台を3周記録しピットイン。予選に向けて変えたセットがいい方向に行っていることを確認。一度ピットアウトし、すぐにピットに戻るとニュータイヤを履きタイムアタックに入ると1分50秒489をマーク。10番手となり、決勝は4列目からスタートすることになった。



それよりも今回Tカーは走らせてなく、フィーリングが全く違う状態となっていた。電子制御もバラバラの状態のため、アクセルを開ければウイリー、開けなければ当然走らない。タイヤもユーズドしかなく苦しい状況となっていた。その中で、ベースを何とか作り14番手を走行しポイント獲得を目指す。12周目に前で1台転倒があったため一つポジションを上げ13位でゴール。貴重な2ポイントを獲得した。



アクシデントを乗り越えつかんだポイント



予選後もチームと話し合い、ブレーキのスタビリティをもっとよくしようとアジャスト。決勝朝のウォームアップ走行で改善できることを確認し。もう一步セットを進めて決勝に挑むことにした。

気温は35度、路面温度は60度という暑さの中でレースはスタートする。1コーナーから2コーナーで前で接触があり、これを避けるために失速したためポジションを落としてしまうが、すぐに挽回。前との差も少なかったため、早めに前に出ていこうとしていたところ、3周目の1コーナー進入で他車に接触されてしまう。ぶつかった瞬間に振動が出ていたので1、2コーナーをスローダウンしBMW M1000RRの後部を見るとダメージがありタイヤもパンクしていたため4コーナーでマシンを止めていた。すると赤旗が提示されたため、5分以内にピットに戻れば再スタートができる。パンクした状態で何とかピットに戻った閑口は、Tカーに乗り換え再スタートすることができた。

仕切り直しとなったレースは20周から16周に減算されて行なわれた。2度目のスタートは、まずまず決まったが、

走り始めから決勝まで決して流れは悪くはなかったのですが、アクシデントがあり、Tカーでレースをせざるを得ない状況でした。Tカーの状態もあり、かなり厳しいレースになってしましましたがリタイアになっていたよりは、ポイントを獲得して終わることができたのでよかったです。今も暑い中、多くの応援ありがとうございました。最後に今回のアクシデントに遭われた谷本選手の回復を祈ります。



閑口 太郎